

# スポ推よこすか

令和 7 年 12 月 23 日 発行

発行責任者 横須賀市スポーツ推進委員協議会会長 林 但

横須賀が好き!



YOKOSUKA CITY SINCE 1907

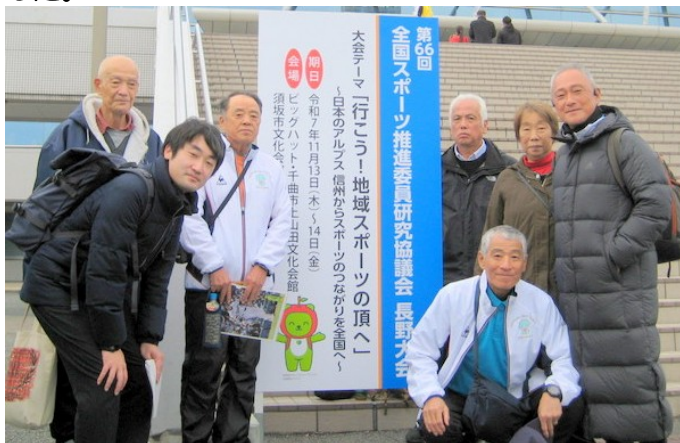
71 号



協議会 HP

## 令和7年度 全国スポーツ推進委員研究協議会(長野大会)

令和 7 年 11 月 13 日 (木) 14 日 (金) の二日間に渡り全国スポーツ推進委員研究協議会(長野大会)が「行こう! 地域スポーツの頂へ」のテーマで全国のスポーツ推進委員 3300 名程が一堂に会し長野県ビッグハット(多目的スポーツアリーナ)で開催されました。



大会に先立ち高山アルプホルンの素晴らしい演奏・長野県長野商業高等学校チアリーディング部の活気あるアクロバティックな技を取り入れたダンス等で歓迎していただきました。



開会の言葉に始まり、続いて表彰式が行われました。文部科学大臣表彰 79 名・スポーツ推進委員功労者表彰 176 名・30 年勤続表彰 334 名・優良団体 35 団体でした。受賞者を代表して長野県スポーツ推進委員の佐藤一郎様よりこの賞は個人のものではなく自治体や共に活動した推進委員の支えがあったからこそ、いただけましたと謝辞がありました。



次にパリオリンピック柔道女子 57 kg 級金メダリスト出口クリスタ氏の「今日を生き抜く・普通の私カナダ初の金メダルを掴むまで」のテーマで基調講演がありました。クリスタ氏がカナダ代表を選んだ理由、勝つことを目的としてならチャンスはカナダ代表の方が有利、柔道は 3 歳で始めスランプこそ成長のチャンスと気付かされた事もあったと、カナダ代表になってポジティブに色々考え計画を立て前向きに、今日を精一杯生きること学んだとのことでした。

続いてのシンポジウムではテーマ【「つくる/はぐくむ」「誰もがアクセスできる」「集まり共に繋がる」地域スポーツ環境を作るために】に対して 3 名のシンポジストの話がありスポーツ推進委員が繋げる力を持っているとのこと。

翌日には、第三分科会に参加し「アダプテッドスポーツの推進と健康寿命の延伸を支える」のテーマで色々学んで来ました。★アイスブレイク=緊張をほぐし、場の空気を和ませる為のゲームなどでコミュニケーション(じゃんけんゲーム)等があるそうです。会場一体になって体験し楽しく終わることができました。

記事 副会長 鈴木 幸子(汐入)

写真 広報部 部長 新堀 邦明(富士見)



## 藤沢市・大和市・横須賀市交流研修

9月20日(土)藤沢市秩父宮記念体育館にて3市の交流研修会を開催されました。

本年度は藤沢市が幹事となり、実技研修会としては、『ワンバウンドふらば〜るバレーボール』『シャフルボード』『おもしろ卓球』の3種目を体験してきました。

ワンバウンドふらば〜るバレーボールは楕円形のボールを使ったバレーボールです。必ず最初は1回ワンバウンドさせなければならないルールがあり、落としてはいけない！が身についている方々には大変そうでした。ただ、コートの中では必然と皆で声を掛け合い、チームワークがとても大切なところはこのスポーツの良いところかもしれませんね。



シャフルボードはキュー(細長い杖)を用いたカーリングのようなもの・・・と言えばイメージが付きやすいかもしれません。そんなに運動量も必要としない為、男女差なく、世代を超えて楽しめるスポーツ、という感じで楽しめました。

その中でも一番楽しめたのは、やはりおもしろ卓球です。こちらはまさに温泉宿での卓球で、ラケットはなんと、スリッパとかまぼこの板です(小田原鈴廣のかまぼこ板が一番良いとか・・・??)初めはピーンポーン的な感じで打ち合っていたものの、あっという間に皆さん目の色が変わり、スマッシュの打ち合いに・・・熱い熱い戦いが繰り広げられていました。



午後は情報交換会を行い、相互の交流を深めました。来年度は横須賀市が幹事となり、交流・研修の企画運営を行っていきます！

記事 広報部 副部長 古川竜治(汐入)  
写真 広報部 部長 新堀 邦明(富士見)

## よこすかスポーツフェスタ 2025



10月13日(祝)横須賀市総合体育館にて、よこすかスポーツフェスタ 2025 が開催され、横須賀市スポーツ推進委員はサブアリーナで新体力測定、メインアリーナでモルック体験会を担当しました。

コートを2面設置し、各面に2名ずつスタッフを配置。



当日は開始直前に雨、屋外イベントは中止となりましたが屋内実施のモルック体験会は大盛況。

今回はモルック未経験者の参加が多数。まずはモルックの基本ルールや投げ方の紹介からスタートしました。また、親子での参加希望が特に多く、小さなお子さんには投げる位置を前に調整するなど、年齢に合わせた工夫を取り入れながら進行。

子どもから大人まで、みんなが同じフィールドで楽しめる時間となりました。

何組かは繰り返しゲームに参加して楽しむほど、モルックの“簡単だけど奥深い”ゲーム性に引き込まれていました。

体験会は合計6時間にわたって開催されましたが、参加者が楽しむ姿を見ていると、スタッフにとっても本当にあっという間で笑顔と熱気に包まれた、素敵なモルック体験会になりました。



記事 広報部 白山 晴之(汐入)  
写真 広報部 部長 新堀 邦明(富士見)



# 成人ソフトボール大会 9月21日(日) 不入斗公園



第65回成人ソフトボール大会 対戦表

チーム名	対戦相手	結果
大友部クラブ	1	対 野比 2
野比	2	対 大友部 1
北下満知	3	対 パートナース 4
パートナース	4	対 北下満知 3
KSC	5	対 ヤスニクラブ 7
ヤスニクラブ	7	対 KSC 5
三笠ソフトボールクラブ	8	対 久々津ソフトボールクラブ 9
久々津ソフトボールクラブ	9	対 三笠ソフトボールクラブ 8
船越	10	対 長瀬 12
長瀬	12	対 船越 10
板小学区	11	対 立野 14
立野	14	対 板小学区 11

ブロック分け:

- Aブロック: 大友部クラブ, 野比, 北下満知, パートナース, KSC
- Bブロック: ヤスニクラブ, 三笠ソフトボールクラブ, 久々津ソフトボールクラブ, 船越
- Cブロック: 長瀬, 板小学区, 立野

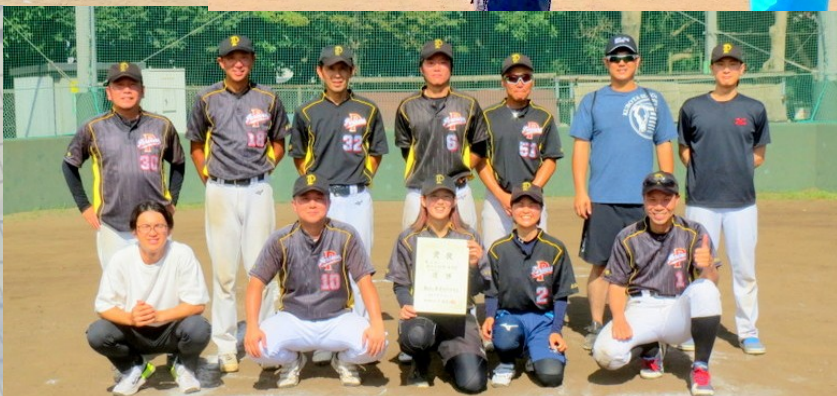


写真 事務局 広報部 部長 新堀 邦明 (富士見)



## 第1回 CSY 杯グラウンド・ゴルフ大会

この大会は一般財団法人CSYの支援を受けて行われる大会です。11月7日(金)好天の中、横須賀市佐原にあるリーフスタジアム(人工芝)で、参加選手・競技役員他を含め総勢150名での開催となりました。この日は小春日和で、プレイすればするほど身体もほぐれ志気も上がり、記録続出(ホールインワン多発)と言う結果につながりました。



普段の練習では人工芝等の好条件の中でのプレイは殆どなく、ここは腕しだいで記録が伸ばせる場所でもあります。リーフスタジアム独特の人工芝の状態を読めれば勝てる可能性大。芝の芽を読むにはお陽さまを背にして順目(光が反射していてボールが転がりやすく距離が出る)と逆目(光が陰になり転がり難く力加減がむずかしい)があります。

＜大会結果＞ 午前の部：11チーム

優勝：湘南たけやまG・G Aチーム	計 288
準優勝：武小(山科クラブ)	計 295
3位：森崎学区	計 297

午後の部：10チーム

優勝：池上学区(あべくらクラブ)	計 286
準優勝：シニアベリー	計 288
3位：船越	計 302

プレイを終えての呟き

- ・人工芝の難しさに悩まされた。
- ・普段の練習の感覚とは全く違っていた。
- ・50mの長距離を飛ばすのに苦労した。
- ・15mでは距離感をつかむのがむずかしかった。

思っていた様な調整もできなかったが、グラウンド・ゴルフの面白さはここにありました。

また次回の大会でお会いできることを楽しみにしています。

記事 広報部 日下部 重夫(武山)

写真 広報部 部長 新堀 邦明(富士見)

## 横須賀・三浦地区ブロック研修会

神奈川県スポーツ推進委員連合会  
横須賀・三浦地区ブロック研修会

10月25日(土)に横須賀三浦ブロックの研修会が三浦市総合体育館メインアリーナで行われました。

今年度は市政70周年の三浦市の主催で三市一町から総勢56名が集い行われました。



実技体験では①コーンホール、②バールボール5、③ラクロスの3種目で3グループに分かれ市町混成チームで行われました。

ラクロスは三浦市で活動しているチームの「MISTRAL」のメンバーの方が4名サポーターとして来ていただき、丁寧にご指導いただきました。



コーンホール

バールボール5

記事・写真 広報部 部長 新堀 邦明(富士見)

## 編集後記

日々身体を動かすことは大切なことです。それに合う、例えばジムに通う・水泳・散歩・グーパーグーパーだけでも毎日続ける努力をしましょう。スポーツは脳も使います、考えながら実践する事を心がけましょう!

副会長 鈴木 幸子(汐入)

ホームページ

<http://sukataishi.io>